

## 行政報告の主な内容（9課21項目）

|               |                             |
|---------------|-----------------------------|
| (1) 総務課       | 全国町村会表彰について                 |
|               | 十勝岳噴火総合防災訓練について             |
|               | 見晴台公園指定管理者の選定について           |
|               | 競争入札参加資格審査申請受付状況について        |
| (2) 行政改革推進事務局 | 広域行政について                    |
|               | 自治基本条例について                  |
| (3) 企画財政課     | 自衛隊関係について                   |
| (4) 税務課       | 町税等の収納対策について                |
|               | 確定申告の受付について                 |
| (5) 保健福祉課     | 西保育所の民営化について                |
|               | 障害者福祉計画について                 |
| (6) 産業振興課     | 日豪 EPA 交渉農産物関税撤廃阻止総決起集会について |
|               | かみふらの雪まつりについて               |
|               | 町営バス十勝岳線無料運行について            |
| (7) 建設水道課     | 除排雪の状況について                  |
| (8) 町立病院      | 町立病院の経営現況について               |
| (9) 教育振興課     | 成人式について                     |
|               | 津市開拓使節子ども交流事業について           |
|               | 上富良野高校の現況について               |
|               | 放課後児童対策について                 |
| (10) 総務課      | 建設工事の発注状況について               |

行政報告  
(平成19年3月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第1回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る12月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

(総務課行政報告)

はじめに、平成18年度全国町村会表彰についてですが、全国町村会では、まちづくりや行財政運営が自治体の模範となる町村を「優良町村」として毎年度表彰しており、本年度、北海道からは本町を含む4町(仁木町、本別町、釧路町)が「優良町村」として、その栄を受けたところであります。

今後とも、今回の表彰に恥じぬようまちづくりに努めてまいります。

次に、十勝岳噴火総合防災訓練についてですが、上富良野町、美瑛町の両町と北海道上川支庁を中心に、2月20日から21日の2日間の日程で、旭川地方气象台、陸上自衛隊、北海道警察、上川南部消防事務組合など多数の関係機関が参加して実施いたしました。

当町においては、11の防災関係機関の参加により、1日目は情報の収集と伝達訓練を主体に、2日目は避難、救助・救出、避難路確保、道路閉鎖などの各種実働訓練を展開いたしました。

避難訓練では、緊急危険区域の住民を対象に、8箇所の避難所を開設して、泥流を伴う十勝岳噴火が起きたという想定で、173世帯、215人が参加したところであります。

本年度は、各住民会単位の自主防災組織からも18名が避難所の運営に加わっていただいたことから、今後の自主防災活動の展開につながればと願っているところであります。

また、西小学校避難所においては、防災ビデオの視聴と自衛隊・警察・消防による救助・救出訓練を、また公民館避難所においては消防職員が講師となった応急手当講習をあわせて行ったところであります。

次に、平成19年度から供用する見晴台公園の指定管理者についてですが、公募によらない指定へ向け、事前協議の結果で申請対象者とした「社団法人かみふらの十勝岳観光協会」の申請を1月23日付けで受理し、1月29日に指定管理者選定委員会において、面談と書類審査を経て総合点数方式で評価したところ、候補者として支障

がないと判断したことから、指定管理者の指定議案を本定例会に上程しているところ  
であります。

次に、平成 19・20 年度の競争入札参加資格申請についてですが、1月22日から  
2月9日まで受付を行い、建設工事で 472 件、設計等で 238 件、物品その他で 287  
件の申請を受けましたので、資格者名簿に登録を進めます。

入札・契約にあたっては、地域経済の振興対策とあわせて、競争性、公正性が強く  
求められているところであり、一定程度の改善策を講じ、更なる適正化に努めてまい  
ります。

#### ( 行政改革推進事務局行政報告 )

次に、広域行政についてですが、1月15日に5市町村長で構成する「富良野広域連  
合準備委員会」の設立総会を開催し、平成 20 年 4 月の広域連合設立に向けて検討を  
開始しました。

1月30日には助役等で構成する幹事会を、2月8日には市町村・一部事務組合の担  
当で構成する専門部会の合同会議をそれぞれ開催し、8 部会において広域連合で処理  
すべき事務の具体的な検討を開始したところであります。

今後のスケジュールについては、6 月末を目処に部会での検討を終え、その結果を  
幹事会を経て、7 月中には委員会において、広域連合で処理する事務を決定する予定  
であります。

その後、規約原案を北海道とも協議を進め、今年 12 月には、各市町村議会での審議  
を経て、年度内に北海道知事へ広域連合の許可を受ける予定であります。

次に自治基本条例の検討についてですが、現在、「自治基本条例づくり検討会議」  
において、先進地職員を招いて条例制定経過と制定後の状況について意見交換を実施  
したほか、大学教授の講演セミナーに参加するなど、これまで 6 回の会議を開催し、  
条例素案の具体化に向けて、活発な議論が重ねられております。条例素案がまとまり  
ましたら、議員各位をはじめ多くの町民の方々と協議を重ね、条例制定に努めてまい  
ります。

#### ( 企画財政課行政報告 )

次に、自衛隊関係であります。1月11日、旭川第2師団へ、翌 12 日に千歳市の  
北海道補給処と札幌市の北部方面総監部にそれぞれ表敬のあいさつと上富良野駐屯地  
の現状規模堅持の要請を行なってまいりました。

また、防衛省の守屋事務次官が 1 月 24 日に、その後 26 日には森陸上幕僚長が、そ  
れぞれ上富良野駐屯地などを視察され、その際に、富良野地方自衛隊協力会による歓

迎昼食会を催し、各首長とともに懇親を深めてまいりました。

防衛施設周辺整備事業関係では、2月1日、上富良野町基地協議会の役員とともに、防衛施設庁に対しまして、事業予算の確保と事業採択の要望を行ってまいりました。

合わせて、防衛省の陸上幕僚長、陸上幕僚副長、防衛部長を始めとする幹部の方々に表敬のあいさつと上富良野駐屯地の現状規模堅持の要請を行なってまいりました。

2月19日には、第2師団のスキー大会が上富良野演習場で開催され、地元駐屯地の第2戦車連隊も出場されたことから、懸命に走る選手の皆さん方を応援してまいりました。

### （税務課行政報告）

次に、12月以降の町税等の収納対策状況についてですが、2月末までの3ヶ月間において、預金調査347件、給料支払調査1件、生命保険調査1件の財産調査を実施し、給料、銀行預金等34件の差押えの執行とともに、管理職全員による滞納プロジェクト及び夜間・休日納税相談窓口開設を各1回実施し、延べ117名への臨戸訪問と延べ109名の呼出し催告を行い、町税510万9千円を徴収いたしました。

また、4月からは、「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」の施行とともに、「コンビニ収納システム」を開始します。今後とも、収納環境の整備とあわせて、法令等の適正な運用により、自主財源の確保に努めてまいります。

次に、平成18年度の所得税確定申告の受付については、2月16日から3月15日の期間で受付事務を実施しておりますが、今年度から税源移譲に伴う所得税及び個人住民税に関する大幅な税制改正を迎えることから、町民が混乱を来さないよう所得税の申告と同様に相談・受付の対応を図っているところであります。

### （保健福祉課行政報告）

次に、西保育所の民間移譲についてですが、平成18年第3回定例町議会において、財産譲与、町立保育所条例の一部改正など一連の民営化に係る事項について、議決をいただき譲与関連手続きを進めてきたところであります。

移譲先であります学校法人専誠寺学園には、これまでの3年間、指定管理者として民間ならではの保育の充実を図っていただいたところであります。平成19年4月1日の民営化移行により、更に利用者のニーズに柔軟に対応し、特色ある保育の展開を大いに期待するところであります。

次に、障がい者福祉計画の策定についてであります。障害者自立支援法に基づき策定が義務付けられたことから、年度内の策定に向け、各関係機関・団体の協力をい

ただき、策定協議会を設け検討を進めております。

計画の骨子については、生活支援事業として位置づけられている町の必須事業や、現在進めている広域での取り組みなどにより対応すべき支援対象数の目標量や新体系への移行対象数の目標など、平成20年度までの推計によりその目標量を定めようとするものであります。

結果を得しだい、議会及び町民の皆様へ公表するとともに、障害者福祉に努めてまいります。

### （産業振興課行政報告）

次に、日本とオーストラリアとの経済連携協定（EPT）交渉による関税撤廃阻止を求める緊急上川総決起集会についてですが、1月19日、旭川市民文化会館において、行政・農業団体・経済団体・消費者団体が集い1,500人規模で開催され、本町からも78名の参加をしたところであります。

次に、「第43回かみふらの雪まつり」についてですが、2月4日、日の出公園を会場に、あいにくの吹雪模様の中ではありましたが、1,000人規模の賑わいで開催することができました。

今回も、駐屯地第2戦車連隊制作による滑り台付き大雪像1基、加えて「新しい冬の富良野・美瑛観光を考える実行委員会」制作の雪だるま5基が設置され、また同実行委員会との共催による「ふらの・びえい人になるキャンペーン」の体験型イベントをはじめ、各種イベントを多くの町民の皆様楽しんでいただいたところであります。

雪像制作などに、ご支援をいただきました陸上自衛隊、建設業協会、女性連絡協議会、自衛隊協力会女性部を始め各関係機関の皆様には厚く感謝を申し上げます。

次に、町営バス十勝岳線の無料運行についてですが、町民の方の保養と健康増進及びマイカーによる冬道の危険防止を図るため、町民の方が往復、町営バス十勝岳線を利用して十勝岳温泉郷の各温泉施設で日帰り入浴される場合、十勝岳温泉郷発の帰りのバスを無料にする取り扱いを2月8日から3月31日の期間で試行中でありまして、

このことにより、併せて十勝岳温泉郷の振興が図られることを期待するところであります。

### （建設水道課行政報告）

次に、除排雪の状況についてですが、2月14日から15日にかけて、低気圧による降雪と強風の影響から、東中地区で交通障害が発生しましたが、例年と比較すると、暖冬で雪も少なめなことから、道路網の確保は順調な状況にあります。

このような中で、昨年が続いて地域単位による自発的な排雪作業の申し出があった、

銀座通り振興会に対し、町は重機による積み込み作業を協力することで、地域との連携作業により、一定の効果をあげております。このような地域モデルが、更に町民の皆様との協働により広がることを期待するとともに、努力してまいります。

#### （町立病院行政報告）

次に町立病院の現況についてですが、昨年暮れに内科医長から3月末をもって退職したい旨の意向が伝えられましたので、早速、現体制維持の必要性から後任者の依頼等について旭川医科大学に対し要請を行ないました。

医科大学では、ご承知のとおり新研修医制度等から勤務医師が手薄の状況にあり、直ちに常勤医師の派遣は厳しい状況であるとのことでありますが、現在の診療体制が維持できるよう引き続き要請を行ってまいります。

また、先に示された医療制度改革や、それに基づく介護病床の廃止等への対応方針を早期に定めなければならないことから、院内の職員で構成する検討会議での議論をはじめ、町の各課代表職員で構成するプロジェクト会議等を早期に立ち上げ、今後のあり方の検討を進め、その方向を定めてまいりたいと考えております。

#### （教育振興課行政報告）

次に、成人式についてですが、1月7日、保健福祉総合センター「かみん」において、町議会議員をはじめ、多くの来賓各位のご臨席をいただき、挙行いたしました。

新成人109名の出席のもと厳粛な中で式典が行われ、成人としての門出を祝福したところであります。

次に、第4回目となる津市開拓使節子ども交流事業についてですが、1月12日から15日までの4日間、本町の小学生52名、子ども会リーダーの高校生5名と引率者5名の総勢62名が、津市を訪問し、津市と本町とのかかわりや開拓歴史の学習とともに、子ども会の相互交流事業を行ってまいりました。

津市子ども会関係者の温かい歓迎を受け、参加した子どもたちにとっては大変有意義な国内派遣事業となったところであります。

次に上富良野高等学校についてですが、昨年、北海道教育委員会が公表した「高校教育に関する指針」に対しては、将来とも上富良野高校を存続していくために、要望運動や署名活動を展開してきたところであります。しかしながら平成19年4月入学の志願状況は、これまでになく少数で、大変厳しい状況となっております。

町としては、今後においても、上富良野高校が、地域に根ざした特色ある高校として存続できるよう町民の理解と協力をいただきながら努力してまいります。

次に、児童の放課後対策についてですが、放課後の安心で安全な居場所づくりとして、平成16年度より地域子ども教室実行委員会が主体となり、「放課後スクール事業」「みんなで遊ぼう事業」を3年間実施してまいりました。この事業は子どもたちや保護者、また関係者等から高い評価を得たところであり、新年度からは、新たに「放課後プラン」として、児童館で行っていた「放課後児童健全育成事業」と一体化して、学校施設を活用し、更に充実強化を図ってまいります。

**（総務課行政報告）**

最後に建設工事の発注状況であります。12月定例議会で報告以降に入札執行した建設工事はありません。

本年度累計では、44件、事業費総額8億4,574万3,500円となっております。

なお、お手元に「平成18年度建設工事総括表」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。

新年度からは、これまでの12課から10課体制による行政運営に移行します。今後とも議員各位をはじめ町民皆様のご理解とご協力をお願いし、行政報告といたします。